



Weekly Report

名古屋みなと

2019~2020

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30
 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル
 事務局 TEL 052-586-2955 FAX 052-586-2956
 E-Mail office@portnagoya-rc.com
 URL http://www.portnagoya-rc.com
 会長 芹澤 謙一 幹事長 瀬 廣幸
 広報・雑誌・会報委員長 加藤 茂春

ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーは世界をつなぐ

R.I. 会長 マーク・ダニエル・マローニー



第 2561 回例会 No.11

2019年(令和元年)10月11日(金) 晴

「我らの生業」

伊藤ガバナー公式訪問

名古屋名駅・名古屋丸の内・名古屋みなと

3 RC 合同例会

出席報告

会員 68 名中 出席 50 名 出席率 73.53%

○ゲスト 第 2760 地区ガバナー 伊藤 靖祐様
 地区幹事 南村 朋幸様

会長挨拶



本日、ホストクラブを努めます名古屋みなとの芹澤です。
 本日の例会はガバナー公式訪問です、伊藤ガバナー、そして南村地区幹事にお越し頂いております。
 また、今日は兄弟クラブである

名古屋名駅クラブさん、そして親子の関係の名古屋丸の内クラブさんとの言わば親戚同士の合同例会となっております。

日頃あまり交流がありませんのでいい機会だと思います。せっかくですので両クラブの会長にもご登壇頂いて皆さんにご紹介したいと思えます。

今年度伊藤ガバナーの地区方針は グローバルに考え、地域社会と繋がり ロータリーを成長させよう、サブタイトルとして ポスト平成 既に元号が令和に変わっていますので 令和のクラブをデザインしようです。その中に 知的多様性と革新的柔軟性 というキーワードがあります。

今日は後ほど伊藤ガバナーの講話がございますのでこのキーワードについてもお話し頂けるのではと思っております。

今年度も早いもので既に3ヶ月、4分の1が経過しており、残すところ9ヶ月足らずとなっていますが、これから 地区の行事、あいにく明日、明後日開催予定の

WFF は台風 19 号の接近により中止となりましたが、11 月には地区大会、年が明けて 2 月には IM、4 月には地区研修協議会とビックイベントが控えております。そして年度末の 6 月にはホノルルで開催されます国際大会がありますね。

ロータリアンの皆さん、せっかくロータリアンになったのですからこれらの地区の行事や国際大会には積極的に参加し、親睦と奉仕をしっかりと実践してロータリーライフを意義あるものにしましょう。

ニコ BOX

(ガバナー公式訪問に伺いました)

第 2760 地区ガバナー 伊藤 靖祐様

地区幹事 南村 朋幸様

(本日ガバナー訪問、ホスト大変ご苦労様です)

名古屋名駅 RC 会長 西川 達郎君

幹事 早川 敏江さん

(本日はガバナー訪問と合同例会です。宜しくお願いします) 名古屋丸の内 RC 会長 高山 進君
 (本日の例会は名古屋名駅、名古屋丸の内、名古屋みなとの 3 クラブ合同例会でのガバナー公式訪問です。伊藤ガバナー、南村地区幹事ようこそお越し下さいました。講話をよろしくお願いいたします)

芹澤会長

(本日は伊藤ガバナー、南村地区幹事にお越しいただき心より歓迎申し上げます。3 RC のホストとして合同で公式訪問ができること、皆様のご協力に感謝を申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします)

長瀬幹事

(元気でやっています)

住田君

(伊藤ガバナーをお迎えして。心より歓迎申し上げます)

深谷君

(伊藤ガバナーようこそお越し下さいました)

加藤(嗣)君

(ご夫人誕生祝)

中村君

(ニコニコ感謝 Day)

猪子君以下 12 名

本日合計 52,000 円

累計 1,194,100 円

幹事報告

長瀬 廣幸君

1. この例会終了後、臨時理事会が16階ロビーにて行いますので、ご出席の方はご移動をお願いいたします。
2. 今後の日程について、再度確認させていただきます。

10/18(金)【例会変更】のため休会

10/25(金)【例会変更】Partner's Night
(夜間例会 THE KAWABUN NAGOYA)

皆様のご出席をよろしくお願い申し上げます。

ガバナー講話

◆ガバナー紹介

名古屋丸の内 RC 会長 高山 進君



伊藤ガバナーは2001年に江南RCに入会されました。職業分類は幼稚園で、学校法人聖英学園の理事長をされています。芹澤会長からもあったように、ガバナーのキーワードについて詳しく伺えると思います。では、お願いします。

国際ロータリー第2760地区伊藤 靖祐ガバナー



卓話に先立ち、DVDをご覧頂きたいと思います。ガバナーになる前、アメリカのサンディエゴで1週間ホテルに缶詰になり、ガバナー研修に参加しました。冒頭に、現会長のマーク・マ

ローニーさんのお話が90分あり、その時に会長テーマが発表され、内容の説明がございました。とてもいい話でした。皆さんにも聞いて頂きたいと思い、90分のお話を勝手に4分にまとめましたので、まずご覧下さい。

(DVD上映)

では、卓話に入ります。私は1959年生まれの59歳。三井物産で東京本店とニューヨーク本社に14年間務めた後、父が運営していた学校法人聖英学園に入職し、現在、幼稚園と保育園を運営しております。

さて、本年度のRIのテーマです。

「Rotary connects the world」(ロータリーは世界をつなぐ)。ロータリーの礎は「つながる」ことだ、ということです。昨年度のバリー・ラシンさんの「Be the Inspiration」(インスピレーションになる

う)は分かりにくいところがありましたが、これは大変分かりやすいテーマになっています。

●RIの5つのキーワード

私は国際大会や国際協議会に出て、RIが求めていること、これからの方向性、コンセプト、アイデアなどについて、私なりに理解しようと考えてみました。学校でも、先生が沢山使う言葉が大事なポイントです。ですから、RIでよく出てくる言葉を5つ抜き出してみました。

「① Connect」(つながる)。これがロータリーの礎です。今日3クラブの皆さんに集まって頂きましたが、これもConnectです。外とのつながりもConnectです。ロータリーはつながりを大事にしていこう、ということです。

「② Transform」(変革する)。変形していかなければいけないということです。Transformは変形、形を変えることです。ロータリーも、二度の世界大戦を越えて形を変え、今日に至っています。

「③ Inspire」(鼓舞する)。盛り上げていこう、ということです。日本企業でも、日立製作所では「Inspire the Next」をスローガンとし、全日空は機体に「inspiration」と書いてあります。

「④ Impact」(衝撃)。地域や国際社会にインパクトを与えていこう、ということです。青少年交換やローターアクトは、未来にインパクトを与えようという活動だと言えます。

そして、「⑤ Together」(一緒に)。私の好きな言葉です。皆で一緒にやるということです。会長幹事だけが頑張ってもだめだよ、皆で頑張ろうよ。会員増強委員長だけが頑張ってもだめだよ、皆で頑張ろうよ。それがTogetherです。Togetherがロータリーの良いところだと思います。ロータリーが単年度制なのはTogetherだということです。

●グローバルに考え、成長を目指す

これらをベースに、私の地区方針は、「グローバルに考え、地域社会とつながり、ロータリーを成長させよう」としました。

ロータリーを成長させていかなければいけません。ロータリーには114年の歴史がありますが、更に200年へと続けなければいけません。皆さんのクラブも、100年続くクラブに成長させて下さい。

そのためには、クラブのデザインをしなければなりません。しかし、会員が185人もいる名古屋RCと20人以下のクラブでは、同じことは出来ません。地域性もあります。だから、各クラブでデザインして下さい、皆さんで考えよう、ということです。これはTogetherです。

そして、グローバルに考えることです。今年4月の規定審議会で出席要件が変わり、メイクアップが、欠席日の前後2週間から同一年度内となりました。ただ、これはR Iの押し付けではありません。

世界には地区が525あります。そこにそれぞれ代表議員がいます。2760地区は江崎パストガバナーが代表議員です。世界中の代表議員が全員シカゴに集まって投票した結果が、この変更なのです。ですから、R Iが押し付けた訳ではなく、世界中の525の地区が、その制度が良いと考えたのです。

また、日本はこれでいいのか、とグローバルに考えて下さい。例えば、皆様にポリオの寄付を最低30ドルお願いしています。財団にも150ドルをお願いしています。なぜ今、ポリオに寄付をしなければいけないのか、と思われるかも知れません。これもグローバルに考えないと分からないのです。

日本は1980年代にポリオは根絶されました。今の日本にポリオ（旧小児まひ）の子はいません。しかし皆さんの同級生には、たぶんおられたのではありませんか。私の同級生にもいました。片手でドッチボールをしていました。そんな時代だったのです。

それが根絶されたのは、WHOやユニセフのお金を使って、ワクチンを沢山もらったからです。世界から多くの援助を頂きました。今度は私たちが返す番なのです。だから、皆さんに寄付をお願いしています。世界にお返しをしましょう。

経済もそうです。日本は戦後の復興で世界銀行から多額のお金を借りました。世界銀行からの借入れは低開発国の象徴です。東京オリンピックでも借りました。東名高速、新幹線でも多額のお金を借りました。1989年にハーバードのエズラ・ヴォーゲル教授が『ジャパンアズナンバーワン』という本を出し、日本も浮かれていました。しかしこの時、日本はまだ世界銀行の返済を終えていませんでした。返済が終わったのは、なんと1992年のことです。日本は今、世界銀行の拠出金ではアメリカに次いで世界2位です。日本は一生懸命、世界にお返しをしています。ODAも沢山しています。ロータリーでもグローバルに考えましょう。その上で、地域社会とつながって、インパクトを与えていきましょう。

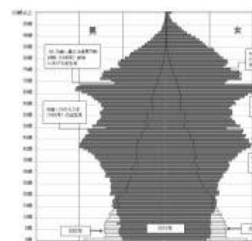
日本では、戦後の民主主義の広まりと共に、ロータリーも広まりました。ロータリーの考え方、特に職業奉仕を基盤にした奉仕の考え方が魅力だったのだと思います。皆さん一生懸命奉仕をして、日本のロータリーは成長しました。これからも成長させ続けないと、こういった奉仕は出来ません。そのためにも、是非ロータリーを成長させて下さい。

では、成長させるためにはどうしたらいいので

しょうか。将来を考える時に、皆さんは企業の経営に関わっている方ですから、現状分析をされてから

今後の成長について考えることと思います。

今日は1つのリソースを持ってきました。人口ピラミッドです。上の塊は団塊の世代。その下の塊が団塊ジュニアで、今45～50歳です。そして、団塊ジュ



ニアが子供を産むところにもう1個山が出来る予定でした。政府はそう思っていました。しかし、日本国民はそういう行動をとりませんでした。そのため、少子化が始まり、高齢化が始まり、人口減少が始まった訳です。団塊の世代は1学年250万人です。しかし今年の出生数は、90万人を割ると言われます。約3分の1です。外国人の増加分を除くと、2018年は人口が42万人減りました。一宮市の人口が37万人です。毎年一宮市が消えていっているのです。

そして、日本のロータリーも10クラブが廃止になりました。2760地区は偶々廃止になったクラブはありませんでした。日本最大の地区ですから、そういう危機は感じていないかもしれません。しかし、日本のクラブは10クラブずつ消えていきます。10年後、大丈夫なのでしょう。

平均年齢を見ると、丸の内RCは少し若くて60歳を切っていますが、他の2クラブの平均年齢は60代です。これが10年上がったらどうなるでしょうか。皆さんで考えて、Togetherして下さい。成長させて下さい。危機感を持って下さい。

● 知的多様性と革新的柔軟性

それでは、どうやって変えていくか。そのキーワードが、知的多様性と革新的柔軟性です。会員増強には多様性を使います。職業分類の未充填分野を増強し、各クラブで職業上のネットワークを広げることが大事です。しかし、誰を入れてもいいということではありません。それは各クラブで知的に考えて下さいということです。

そして、革新的に変えて下さい。これは柔軟性です。もしかしたら、例会のあり方も変えなければいけないかもしれません。例会を減らしてでも、奉仕をもっと増やしていこうという考え方が必要です。

もっと劇的なことが必要かもしれません。

革新的に変革した身近な例を申します。日銀の黒田総裁はすごい決断をしました。普通の金融政策なら「デフレを止めましょう」で終わります。

それをいきなり「インフレにします」と言ったのです。物価上昇率の目標は2%。デフレだったのにいきなり物価が上がる訳がありません。

しかし、やらなければいけないのです。今は頑張って0.8%くらいまで持ってきています。なる／ならない、ではありません。

まずリーダーが示すことです。リーダーが、絶対にインフレにするんだ、給料をもっと上げさせるんだ、というビジョンを示すということです。

そして、黒田総裁は金融緩和を深掘りし、マイナス金利にしました。これはかなりの劇薬です。私どものクラブで、前の日銀名古屋支店長・内田さんにお話を伺いました。会員に銀行の方がいますが、内田さんは、「銀行さん、ごめんなさい。我慢して下さい」とはっきり言いました。すごいなと思います。

今や、ドイツやフランスもマイナス金利となり、マイナス金利は当たり前になりました。しかし、最初に実行したのは黒田総裁です。

革新的に変革しようという強い意志を示していくことが、ロータリーのリーダーシップに求められています。是非、知的多様性と革新的柔軟性を取り入れ、ロータリーを成長させて頂きたいと思います。

● 不易流行

しかし、不易流行です。変えていいものと変えてはいけないものがあります。変えてはいけないもの、それはロータリーの理念の構造です。

基本をなすのが「中核的価値観」です。それを端的に表したのが「ビジョン声明」。そして行動に移すための「戦略計画」。その指針となる「ロータリー章典」。これがロータリーの理念の構造です。

その中でも一番大事な中核的価値観は、図の円の中心に書かれてある5つです。まず「親睦」です。

1905年、ポール・ハリスは親睦を目的として集まりました。次が「高潔性」です。ロータリーの歴史で

有名なシェルドンが1908年にシカゴクラブに入り、奉仕の概念を持ち込むと同時に、職業奉仕の理念を提唱しました。それが高潔性です。私はこれがロータリーで一番美しいところだと思います。最近、日本のロータリーの金看板である



職業奉仕がどこかへ行ってしまった、と嘆く方がいますが、ここにしっかり入っています。どこにも行っていません。その他に「多様性」「奉仕」「リーダーシップ」が中核的価値観となります。

「ビジョン声明」はとてもいい文章です。「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」というものです。原文はTogetherという言葉を最初に持って

きています。(Together, we see a world where people unite…)

中核的価値観や「四つのテスト」が不易なのに対して、「戦略計画」の内容は流行であり、変えてもいいものです。R I も5年に1回変えています。今年度から変わりました。2019～2023年度のR I 戦略計画には4つの優先事項が掲げられています。

「①より大きなインパクトをもたらす」。ポリオ根絶のように、大きなインパクトをもたらす社会事業、国際奉仕を実行して下さい。「②参加者の基盤を広げる」。会員増強をして下さい。「③参加者の積極的なかわりを促す」。Connectです。皆さんどんどん関わって下さい。中も外もConnectを強めて下さい。そして、「④適応力を高める」。ダーウィンの進化論は言っています。強い動物が生き残るのではなく、適応力のある動物が生き残ってきたんだと。組織もそうです。強い組織・企業が生き残るのではありません。例えば、コダックはもうありません。もうフィルムを売っている時代ではありません。しかし、富士フィルムはコダックにはなりません。富士フィルムの適応力は素晴らしいと思います。ロータリーもそうしなければいけません。不易と流行をきちんと判断した上で、変えるものは変えていって下さい。

何かを変えるには、当然、抵抗勢力が出てきます。10対0のものを変えるのは変化とは言いません。

半分以上反対の人がいるものを変えていくのがTransformだと私は思います。

変化を成功させるカギとなるのは、まずは「ビジョン」を示すことです。それを説得するための「スキル」も必要です。だから、リーダーシップを磨くのです。黒田総裁が、インフレにして給料も上げていくと言ったように、変化を取り入れることへの「見返り」も必要です。今日お示した人口ピラミッドのような「リソース」(情報・資料等)も必要です。そして、変化を取り入れるための各段階の明確な「行動計画」を作ることです。柔軟性を取り入れて、例会のあり方、奉仕のあり方を柔軟に変更しながら、是非ロータリーを成長させて頂いてください。

最後になりますが、ハワイで開催される国際大会のご案内です。来年6月6日(土)のガバナーナイトに是非ご出席頂きたいと思います。そして初の試みで、6月5日(金)、「2760ゴルフ」と称して、ホノルルカントリーを貸し切ってゴルフをします。どうかご家族も含めてご参加頂ければと思います。本日はありがとうございました。

◆閉会の挨拶

名古屋名駅 RC 会長 西川 達郎君



伊藤ガバナー、南村地区幹事には、3クラブ合同例会にご出席を賜り、誠にありがとうございました。また、神野パストガバナー、パストガバナー補佐の皆様、3クラブ会員の皆様には多数ご参加頂き、ありがとうございました。

いました。

芹澤会長も仰ったように、今年度は3ヶ月あまりが過ぎましたが、まだまだ今後IMや地区大会などがありますので、会員の皆様には、ガバナーのご講話にありましたことを念頭に置き、緊張感を持って事業に邁進して頂きたいと思っております。

最後に、本日この例会のホストをお務め頂きました芹澤会長はじめ名古屋みなとRCの皆様へ心から感謝を申し上げます。本日はありがとうございました。

ガバナー・会長・幹事懇談会

11:30 17階「楠」

伊藤ガバナー、南村地区幹事、3RC会長・幹事



臨時理事会議事録

と き：10月11日(金) 13:35～14:00

ところ：名古屋マリオットアソシアホテル

出席者：芹澤会長以下11名

① 審議事項

1. WFF中止に伴う【例会】取り扱いの件

10月12日(土)WFF会場にて、10月18日(金)の例会変更として開催予定であったが、台風接近のためWFF自体が【中止】となったことを受け、自然災害による特例により、理事会権限にて例会を【取消】とする

② 報告事項

1. ホームページの件

現在製作委員会にて最終作業中で、11月1日の港友例会において発表

2. 会員増強について

会員増強を他人事ではなく、新入会員を中心にチームを作って、組織的に増強活動をしていくことを確認

3. My Rotary 及び 2760 地区アプリについて

ガバナーから、My Rotary 及び 2760 地区アプリを情報共有に活用してもらいたいという要請があったので、その場で出席理事役員がアプリを登録。順次各会員に要請していく

月	日	今後の例会予定
11	1	港友例会
	8	卓話 J.フロントリテイリング(株) 特別顧問 岡田 邦彦氏
	15	地区大会 例会変更 10日(日) 10:00 ホテルナゴヤキャッスル
	22	休 会
	29	ロータリー財団卓話 「ロータリー財団の多様性について」 地区ロータリー財団委員会 副委員長 中村 公彦君
12	4	年次総会 第2回クラブフォーラム
	13	港友例会
	20	忘年家族会 例会変更 18:00 16階「アゼリア」
	27	休 会
1	3	休 会
	10	港友例会